

令和4年 南アルプス市議会 第1回定例会（3月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	南風 櫻田 力	1. 令和4年度南アルプス市行政経営方針について	<p>令和4年度行政経営方針に定められている以下の各施策の主な取組方針について、市の考えを伺う。</p> <p>(1) 優先施策6「自然との共生」の主な取組方針「ユネスコエコパークは、市民にとって馴染みやすいSDGsと組み合わせる幅広い年齢層に向け啓発事業を実施する」の、具体的な取組内容は。また、取組みの中でSDGsをどのように実践していくのか。</p> <p>(2) 優先施策6「自然との共生」の主な取組方針「櫛形山のアヤマなど動植物減少に関する調査、検証を実施する」の、具体的な取組み内容は。</p> <p>(3) 優先施策6「自然との共生」の主な取組方針「公共施設において積極的に自然エネルギーを導入する」は、脱炭素社会づくりを目指す取組みの一つと受け取れるが、この取組みによるCO2の実質排出量の削減はどれほどか。また、その削減量を含む令和4年度末の本市におけるCO2の実質排出量の削減は、どれくらいと推定されるか。</p> <p>(4) 「成果を維持する施策」の一つに「防災体制の整備」を掲げ、その取組方針に「将来を見越した消防団組織の在り方の検討」を定めているが、どのような視点に立ち検討を行おうとしているのか。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	新政南アルプス 村松三千雄	1. 山梨県の「南アルプス観光振興ビジョン」に係わる観光客増加を指向した観光資源の発掘について	(1) 観光客増加による地域産業の活性化と、新たな関連ビジネスと雇用機会の拡大を目的とした「地域スポーツコミッション事業」を、本市でも事業展開し地域振興を行う必要があると考えるが、市の所見は。
			(2) 今年6月、新広河原山荘は営業を開始する予定で、高付加価値サービスを展開することとしているが、具体策は。
		2. 自治会未加入者への加入促進について	(1) 自治会は、少子高齢化の進行や増加する行政需要、さらに厳しい財政需要の中で、市の末端行政を担う組織として、大変重要な組織と認識している。 市では、自治会をどのように認識しているか。
			(2) 近年、自治会に加入しない世帯の増加が進む中、令和2年市内に転居・転入した世帯を対象に実施した「自治会加入に関するアンケート」で、未加入世帯の半数以上の53.7%が加入しなくても困らない（メリットがない）と回答したことが、新聞報道で分かった。市は「移住者に自治会の利点を伝え、加入を促したい」と話している。 市はアンケート結果について、どのような認識を持ち、自治会加入促進に取り組んでいるのか。
	(3) 昨年の11月、自治会への加入促進を図るため、山梨県宅建協会と自治会連合会と市の3者で「南アルプス市における自治会への加入促進に関する協定書」を取り交わしたが、その目的と連携事業の具体策は。		

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	新政南アルプス 村松三千雄		(4) 自治会と市がさらなる連携を深め、自治会向けの手引書の充実と、充て職の見直しなど、自治会役員の負担軽減する措置等を早急に検討する必要があると考えるが。
		3. ごみ集積所への不法投棄・不適正排出への対応について	(1) 依然として家庭からのごみ出しルールがいまだ守られていない現状である。市は、保坂議員の答弁で、自治会等と協力し、不法投棄の実態の把握に努めながら、不法投棄を根絶する工夫や仕組みを調査研究していくとのことであるが、その後の検討状況は。
			(2) 転入者への「ゴミ集積所の設置及び管理に関する要綱」に基づいた、ごみ出しルールの周知徹底状況は。
	(3) ゴミ集積所への不法投棄や不適正排出を防止するためには、集積所を管理する自治会への防犯カメラの設置費用を補助する制度、または防犯カメラを貸与する制度の検討が必要と考えるが。		

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	<p>躍進会 北村千代子</p>	<p>1. ひきこもり支援 について</p>	<p>(1) ひきこもりとは、仕事や学校に行かず、かつ家庭以外の人との交流をほとんどせずに6カ月以上続けて自宅にひきこもっている状態と言われている。          国においても、ひきこもりの状態のある方やその家族の支援に向けて、相談しやすい体制を整備するとともに、安心して過ごせる場所や自らの役割を感じられる機会を作ることの施策を進めていくとの方針である。          現在、小中高校で不登校を経験し、その後もひきこもっている方もおり、今、社会的に関心が高まっているひきこもりの方への支援について本市における現状認識と取り組みは。</p> <p>(2) 厚生労働省から、ひきこもり支援の相談窓口の明確化とその周知について取り組むよう要請されているが、本市の対応状況はどのようになっているか。</p> <p>(3) ひきこもりの支援体制の整備として、生活困窮者自立支援制度の中で、アウトリーチ（訪問支援）を行う支援員の配置が可能とされているが、本市における活用状況はどのようになっているか。</p> <p>(4) ひきこもり支援を推進するに当たり、当事者の方や家族の方の声をよく聞きながら取り組む必要があると考えるが、本市において、ひきこもりの当事者がホッとできる場所や安心して誰かとつながるきっかけ作りの「場」はあるのか。あればどのような関わりを持っているのか。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	<p>躍進会 北村千代子</p>		<p>(5) ひきこもりに限らず、複合的な生活課題を抱える市民に対し、例えば、ひきこもり支援施策である市町村プラットフォーム設置による支援調整会議等を活用し、地域の社会資源、ニーズの把握、適切な支援へつなぐ等の取り組みを市として推進してほしいと考えるが、市の意向は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	公明党 河野木綿子	1. (仮称) こども家庭相談課（子ども家庭総合支援拠点）の設置について	<p>「子ども家庭総合支援拠点」について令和2年12月議会で質問し、2022年に設置するとの答弁だった。この度の市役所組織の見直しに、子育て世代の包括的な支援と連携し、子ども家庭総合支援拠点の設置及び保健福祉部内において、横断的に業務を進めていく必要性が高い発達支援、虐待問題等に関する支援を中心となって対応する新しい課が新設される。そこで、</p> <p>(1) (仮称) こども家庭相談課の設置について、担当や業務内容についての具体的な考えは。</p> <p>(2) 人材配置の考えは。</p> <p>(3) 多面的な角度から対応できる子育て包括支援センター機能を兼ねた子ども家庭総合支援拠点が必要であると訴え、市長も同じ考えと答弁があった。今回の組織見直しで子育て包括の一体的な拠点機能が実現できるか。</p> <p>(4) 途切れのない支援を更に推進するため、途切れのない連携強化が重要となる。特に小中学校の現場における教育委員会との連携の考えは。</p>
		2. 保育料の無償化と、保育環境強化の考え方について	<p>(1) 新年度、仕事と子育ての両立を支援し、子育て世代の経済的負担を軽減するため、特定教育・保育施設等を利用する3才未満児の利用者負担額を軽減する事を目的として無償化のための当初予算を計上している。これに伴う保育環境の整備や人材確保、待機児童の改善等の課題解決の考えは。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	公明党 河野木綿子		(2) 働かない選択をした自宅で子育てをする方への支援策をどのように考えているか。
		3. 本市における博物館に対する今後の方向性について	(1) 昨年の11月、南アルプス市ふるさと文化伝承館が博物館登録された。今後の展開の考えは。
			(2) 南アルプスユネスコエコパーク活動推進も含め、山岳観光と自然保護、資料保存なども含め、南アルプス芦安山岳館を博物館登録する考えは。

令和4年 南アルプス市議会 第1回定例会（3月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	未来創政の会 矢崎俊秀	1. 市長の担任した 7年間のまちづ くりとその評価 について	(1) 市長職を担任して通算7年を通して、 議会で表明された政治理念に基づく、ま ちづくりをどの様に実施して、どの様に 評価するのか。 (2) 市長任期を1年余りとしたこの段階に おいて、改めて政治風土の健全性や市民 の一体感の形成を図ることの必要性につ いて、どの様に考えているのか。 (3) 残された任期で財政構造の改善のため の歳出抑制の道筋をどの様につけるの か。 (4) 既に操業している10カ所の工業団地の 固定資産税や市県民税と法人市民税の内 訳と総額は、どれほどの額にあるのか。 (5) 産業観光部が所管する工業団地拡張事 業における費用対効果として、現段階で どの様に雇用や税収予測しているのか。 (6) 本市は、やまなし「ゼロカーボンシ ティ」宣言の主旨に即した脱炭素社会の 構築に向けた基本方針をどの様に考えて いるのか。 (7) 本市では、今後も学校施設や保育所な どの公共施設建築が予定にあるが、 「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル」と することについて、どの様な考えにある のか。 (8) 若草保育所は、平成29年度に実施した 耐震診断において、問題ないとした診断 結果にあるが、何を根拠に改築とするの か。



令和4年 南アルプス市議会 第1回定例会（3月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	日本共産党 南アルプス市議団  名取 泰	1. 国民健康保険について	(1) 山梨県から来年度の納付金額の目安が示された。市として来年度の国民健康保険特別会計の方向性をどう考えているか。
			(2) 財政調整基金を活用すれば、令和4年度も税率を引き下げることが可能と考えるがどうか。
		2. 入札制度について	(1) 市の入札において予定価格を決める際の参考見積について、透明性や公平性は確保されているか。
			(2) 市の入札制度の透明性と公平性をさらに確保するために、特に設計や調査等の業務委託については、参考見積の設定方法の改善や、市のチェック体制の強化が必要と考えるがどうか。
		3. 消防本部におけるパワーハラスメントについて	消防本部において発生したパワーハラスメントについて、市の例規に照らしてどう総括しているか。

令和4年 南アルプス市議会 第1回定例会（3月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	新政南アルプス 保坂 健	1. 企業誘致の推進 について	(1) 御勅使南工業団地に株式会社コーセーの新たな生産拠点の新設が計画され、当初は2021年度の稼働が予定されていたが、新型コロナウイルスの感染拡大で稼働が延期となっている。その後の稼働に向けての状況をどのように把握されているか。
			(2) 株式会社コーセーは、グループ内に「地球環境委員会」を組織し、社会・環境への取り組みを進め、SDGsへの貢献も目指し、環境保全活動の支援を実行しているとのことであるが、こうした面での本市への支援は。
		2. 結婚新生活支援 事業の拡大につ いて	移住・定住人口の拡大策として「結婚新生活支援事業補助金交付要綱」を定め、1世帯当たり最大30万円の補助金を交付するとなっているが、補助対象世帯については夫婦の合計所得が400万円未満であることと制限を設けている。今後、さらにこの事業の利用者を拡張し移住・定住人口の拡大につなげていくことについては、制限は必要無いと考えるが、市の所見は。

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	新政南アルプス 飯野多恵子	1. 移住・定住の促進について	<p>(1) 令和4年1月29日付け、山梨日日新聞に山梨県への転入が転出を上回った。南アルプス市は、甲府市に次いで転入が多いとの記事が掲載されていた。この報道をどのように受け止めているか。</p>
		<p>(2) 令和4年度の行政経営方針で、優先施策5つの中に移住・定住人口の拡大を挙げている。推進について、具体的な考えがあるのか。</p>	
		2. 子育て支援について	<p>住んでみたい、住んでいて良かったと思える支援策は多々あるが、市長の公約である「子育て支援のさらなる推進」の一つとして、4年度から3歳未満児の第一子についても保育料が無償となり、これにより完全無償化となる。子育てにやさしいまちであることを積極的にアピールするため、「子育てに優しいまち宣言」を行う考えは。</p>
		3. 若草地区拠点施設整備について	<p>(1) 老朽化している若草保育所は、現在設計の段階に入り、計画が示されたところである。併せて拠点施設の駐車場整備も進められている。今回新しい保育所の計画案が示され、それによると正面玄関は、旧若草支所側にあり、正門の入り口も東側に設定されている。また、保育所への送迎は、建物の北側から入る説明があった。このことは、保護者への説明を行い理解が得られているのか。</p>
		<p>(2) 保育所専用の送迎用スペースについては、教育委員会との調整をしたのか。</p>	

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	新政南アルプス 飯野多恵子		(3) 周辺施設の駐車場整備は、並行して進められており、今回駐車場の案が示された。整備の目的は「保育所建設により、減少する駐車スペースを確保すること、利用者をはじめ子どもたちの安全確保を図る」と説明があった。 具体的に、どのような安全対策を考えているのか。

令和4年 南アルプス市議会 第1回定例会（3月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	躍進会 花輪幸長	1. 果樹産地生産基盤パワーアップ事業導入に伴う市の対応について	<p>(1) 国においては、果樹の収益力強化として計画的かつ積極的に取り組む産地に対し、「産地基盤強化パワーアップ」（果樹関係）が令和3年度補正予算化された。この事業は、直接JAを通じて農業者等が行う高性能な機械・施設の導入等に対して、総合的に支援する事業である。また、この事業は以前の「産地生産基盤パワーアップ事業」に比べて充実・強化され、農家にとって大変有益な事業であると考えられる。しかし、この補正予算対応は、申請期間が短期間であるとともに、パイプ資材の急激な高騰で事業執行が厳しい状況である。市の農政発展に大きく寄与する事業と思うので、令和4年度以降も継続される事業として、県・国に大々的に働きかける必要があると思うが、市の見解は。</p> <p>(2) 過去の産地パワーアップ事業導入時には少数だが50a以上の大規模一括事業導入された方もあった。今回は改植と棚整備が一体であることが前提となるが、棚資材も補助対象になり、前回は上回る大規模事業が想定されるので、市単独の補助金助成も必要と考えるが、市の考えは。</p> <p>(3) 小規模園地整備として、風や消毒が防げる多目的防災ネットも補助対象になる。今までに農業委員会及び市の窓口で苦情が寄せられた住民・農家に対し、共生に向けて多目的防災ネット設置推進は有効と思うが、市の考えは。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	<p>躍進会</p> <p>戸栗 淳</p>	<p>1. 市営住宅について</p>	<p>(1) 現在南アルプス市内にある市営住宅は、すべて合併前の建築であり、その合計数は棟数178棟、管理戸数607戸、入居者数327戸となっている。 現在、入居募集を行っていない住宅は、すべて建築基準法の耐震基準を満たしていないという認識で良いか。</p> <p>(2) 政策空き家には、現在、何戸の入居があるのか。</p> <p>(3) 八田地区においては、柳西団地以外は政策空き家の対象となっているが、現時点でも田尻住宅と天王住宅は、築60年を過ぎても全棟入居している。もう一つの松ノ木住宅は20棟のうち半分の10棟が空いている状態である。この空いている10棟のうち、7棟を取り壊す予定のようだが、何故残り3棟も一緒に取り壊さないのか。</p> <p>(4) 白根地区においては、2階建ての住宅が8棟あり、8棟とも政策空き家の扱いとなっているが、うち1棟は昭和57年の建物である。この住宅は耐震基準を満たしているのではないか。</p> <p>(5) 芦安地区においては政策空き家の指定となる新倉団地に2戸のみ入居しているが、この入居者に空いている日中団地へ移ってもらう事はできないのか。</p> <p>(6) 坂下第1・第2団地に関しては、平成5年の建物で政策空き家の対象となっていないにも関わらず入居者数は0であるが、この理由は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	躍進会 戸栗 淳		<p>(7) 当市として、新たに市営住宅を建設する予定はあるのか。</p> <hr/> <p>(8) 政策空き家のすべてから入居者が退去した地区が出た場合、土地利用の計画はあるのか。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1 1	躍進会  三枝守和	1. マウンテンバイクに伴う地域活性化策について	<p>(1) 南アルプス市をプロモーションするには、子どもから大人まで楽しめるマウンテンバイクの推進も市の政策として最善かと思うが、市の見解は。</p> <p>(2) コロナ禍で、2021年度の全国体力テストでは、山梨県内の児童生徒の体力低下が進んだと報道された。体力増進のためドッジボール、ブランコ、サッカーと、いろいろ運動があるが、市内小学校（楡形西小学校）における自転車教室（マウンテンバイク教室）に対して、教育委員会として他の小学校にも自転車教室の開催ができるか。</p> <p>(3) 平岡区の区有林を利用して、マウンテンバイク（MTB）コースを設置し、大きなイベントを開催して、県内外からの愛好者による大会が実施されている。この大会や週末でのバイク教室に多くの人たちが訪れている状況であるが、トイレの設置がないため現状、伊奈ヶ湖での利用を余儀なくしているが、苗畑のトイレの使用はできないか。</p> <p>(4) マウンテンバイク（MTB）の大会が今後拡大し、全国的規模に発展するならば、下部組織の育成のため、市の遊休地（樹園の周辺）に練習するためのコースを新設したいとMTB愛好者から聞いている。市の土地を貸し出す考えがあるか。</p> <p>(5) マウンテンバイク（MTB）の大会では、自転車を車に載せて来る。そこで駐車場問題が浮上してくる。周辺民地を買収し、県外から来る多くの愛好家が安心して大会ができるよう、市の先行投資を希望するが、市の見解は。</p>



質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1 1	躍進会 三枝守和	2. 観光策として	<p>ユネスコエコパークの保全と活用の中には、県民の森の癒し、教育、交流、大自然エリアの観光とある。伊奈ヶ湖から高尾までの林道沿いに桜、モミジ、アヤマ、アジサイと四季折々の見どころがある観光周遊道路を整備する考えは。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第1回定例会（3月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1 2	公明党 小池伸吾	1. 南アルプスIC周 辺整備事業につ いて	(1) 南アルプスIC周辺整備事業の進捗状況は。
			(2) 南アルプスIC周辺エリアにおいて、どのような土地利用を目指しているのか。また、現在公募中である拠点整備事業との連携について、市の考えは。
			(3) 今後の南アルプスIC周辺の土地利用について、拠点整備事業に対する企業の関心度の高さが示しているとおり、ニーズに応じていく必要性を感じる。このチャンスを逃さぬよう、スピード感を持って今事業を進めるべきと考えるが、市の計画は。
		2. エコパ伊奈ヶ湖 の今後の活用につ いて	(1) ユネスコエコパークの緩衝地域にあるエコパ伊奈ヶ湖の現状の活用方法とこれまでの実績は。
			(2) 企業版ふるさと納税は、周辺整備において有効な手法であると考えますが、今後さらに拡充する考えはあるか。
			(3) 今後の具体的な事業計画を早期に示すべきと考えるが、市の考えは。

令和4年 南アルプス市議会 第1回定例会（3月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
13	<p>日本共産党 南アルプス市議団</p> <p>松野昇平</p>	1. 保育所運営について	(1) 保育所から自宅への「使用済み紙おむつ」の持ち帰りについて、衛生面のリスクや保護者・保育士の負担などを踏まえ、施設内処分に切り替えるべきと考えるが、市の所見は。
			(2) 土曜日保育は、保護者、保育者の相互信頼関係を基本とした保育の延長線上にあり、子どもの健やかな生育につながるものである。規模縮小に乗り出さぬよう求めるが、市の所見は。
			(3) 保育士に対する3%程度の処遇改善を国が決定し、市として、交付申請と予算化が条件となっている。すべての保育士の処遇改善が必要と考えるが、市の対応は。
		2. ゼロカーボンの実現に向けた取り組みについて	(1) 南アルプス市環境基本計画で、ゼロカーボン達成のために掲げている「地域の自立性を高めるための分散型エネルギーシステムを構築し、エネルギーの地産地消を推進する」とは、どのような取り組みか。
			(2) 地方自治体が主要出資者となってエネルギーの地産地消を目指す新電力が、環境面はもちろん、市民にも大きなメリットをもたらすとして注目を集めている。南アルプス市でも計画すべきであると考え、市の所見は。

令和4年 南アルプス市議会 第1回定例会（3月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
14	小林敏徳	1. 過疎地域持続的 発展計画について	<p>昨年の12月定例会の市長説明要旨の中に、芦安地区全体を通じて楽しめる周遊型観光、滞在型観光の推進とあるが、どのような観光なのか。</p>
		2. 旧完熟農園について	<p>(1) 生産者協議会の席上で、当時の社長のもとで集めた金は返しますと、生産者の人達に約束いたしました。緊急融資に協力してくれた71人の人達に返却したのか。</p> <p>(2) 現在も、破産手続きが行われており、債権者集会も開催されていますが、これらの経過を生産者に対して説明をする必要があると思うが、説明する気はあるのか。</p>